

令和7年度 東大和市立第四中学校 性教育 全体計画

○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領
○東京都教育委員会教育目標
○東大和市教育委員会教育目標

学校教育目標

○自ら考え、学び続ける生徒
○豊かな心を持ち、自他を尊重する生徒
○健康で、たくましく生きる生徒

○生徒・学校・家庭・地域の実態
○地域の期待や願い
○保護者の期待や願い
○時代や社会の要請

○本校における性教育の目標

発育・発達段階に応じ、心身の発育・発達や変化など、人間の成熟について科学的に理解するとともに、生命や生殖に関する基本的な内容を適切に指導することで、自己の性を肯定的に受容し、人間尊重、男女平等の精神に基づき、豊かな人間関係を築くことができるようにする。さらに、人間の生物学的性や心理的、社会的、文化的性について理解を深め、家族や社会の一員として直面する性の諸問題についてより適切な意思決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てる。

○生徒の実態

男女混合の生活班、係が日常的に編成されており、男女隔たりなく積極的に人間関係を築いている。令和5年度より標準服自由化が開始。令和6年度道徳地区公開講座では「ジェンダー平等」をテーマに学習を進めた。このように多様性を認め合う力を高める一方で、自己肯定感が低く、性に関する理解には、内容の広さ、深さ共に個人差が見られる。また、性について知識を関連付けて理解を深めようとする態度はあまり見られない。

○具体的な重点目標

①自己の性を肯定的に受容し、自己肯定感を高め、互いを尊重して生活する態度の育成
②同性や異性の生物学的性や心理的、社会的、文化的性について理解を深め、家族や社会の一員として直面する性の諸問題についてより適切な意思決定に基づく行動選択ができる能力や態度の育成

○各学年における具体的な性教育の重点

1学年	保健体育科の保健分野の授業を中心に第二次発育急進期である思春期の心と体の発育・発達について正しく理解するとともに性に対する意識を高める。学校生活全般を通じて他教科との関連付けながら男女共習の場面を多く取り、互いに尊重し、豊かな人間関係を築く力を養う。
2学年	各教科や特別な教科道徳などとの関連を図りながら、自他の性を受容し、認め合う態度を養う。男女共習での学習活動を通して、同性や異性との豊かな人間関係を築かせる。
3学年	生命や人格の尊重、男女平等の精神の下、自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築くことのできる資質や能力を育成する。

○各教科等における具体的な性教育の重点

国語	男女混合のグループでの話し合いや発表を通して、豊かな人間関係を築く力を養う。	美術	男女混合のグループでの話し合いや発表を通して、豊かな人間関係を築く力を養う。
社会	性差別など文化的性差について考えようとする姿勢を身に付ける。	保健体育	男女共習での授業において、異性の人格を尊重し、豊かな人間関係を築く力を養う。
数学	グループ学習など、生徒同士の関わりを通して、自尊感情、自己肯定感を育てる。	音楽	混声合唱を経験する中で、変声期による声域や発声法の違いを認識させる。
理科	生物の生殖の学習を通して、性差を認識しながらも性に対する平等な態度を養う。	技術・家庭	男女混合の班を中心に制作に取り組み、その中でお互いに認め合い、協力して作業を行う力を養う。
英語	グループ学習など、生徒同士の関わりを通して、自尊感情、自己肯定感を育てる。	総合的な学習の時間	学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。
特別の教科道徳	人としてのより良い生き方を考えさせ、個性や立場を尊重し、考え方や感性の違い、個性を認め合える態度を育成する。		
特別支援教育	生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせ、自立する心を育てるなかで、異性に対する適切な接し方についても指導する		

○各領域における具体的な性教育の重点

生徒指導	生徒に自己肯定感を与え、共感的な人間関係を育成し、自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助する。	特別活動	集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
進路指導	自らの意思と責任で自己の生き方、進路を選択できるよう適切な指導・援助を行う。	安全教育	進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できる力を身に付けさせ、自助だけでなく、共助、公助に関する教育を進める。
人権教育	社会生活を営む上で必要な知識・技能、態度などを確実に身に付けることを通じて、人間尊重の精神の涵養を図る。	食育	給食時間を通じ、会食のマナーを習得させ互いに明るい社交性と好ましい人間関係を形成させる。

